



国税庁が提供する各種インストーラをダウンロードする ために必要なルート証明書の確認手順

1. ルート証明書とは

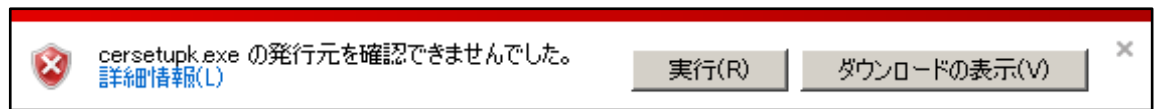
ルート証明書とは、証明書の発行元（認証局）の正当性を証明する証明書のことです。
この証明書の発行元（認証局）を信頼の基点と呼びます。国税庁が提供する各種インストーラのコード署名においては、以下の認証局を信頼の基点としています。

- Security Communication RootCA2 (セコムパスポート for WebSR3.0)

また、コード署名時点から、改ざん等が行われていないことを保証するため、コード署名と以下の認証局から発行されたタイムスタンプ（副署名）を付与しております。

- GlobalSign Root CA - R3 (グローバルサイン)

セコムパスポート for WebSR3.0 及びグローバルサインのルート証明書がパソコンに組み込まれていない場合は、各種インストーラをダウンロードした際、以下のメッセージが表示される場合があります、正常に実行できないことがあります。



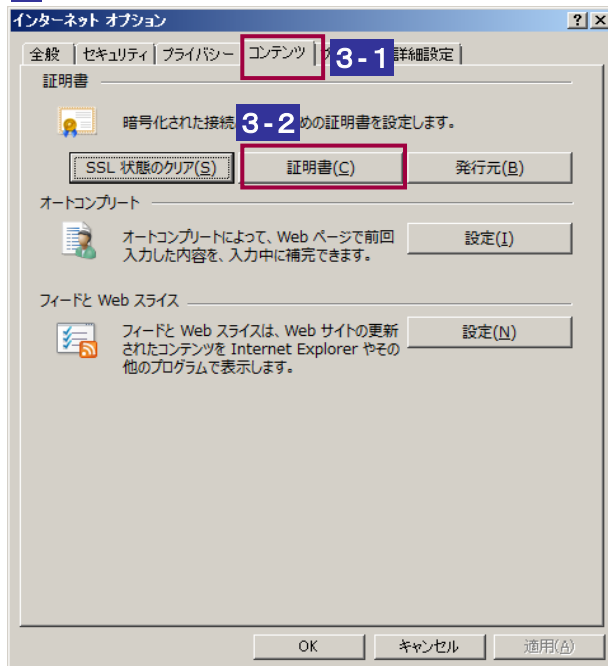
上記メッセージが表示される場合は、次の手順に従いルート証明書の事前確認を行ってください。

2. ルート証明書の事前確認手順

- 1 ブラウザ（IE）を起動します。
- 2 メニューバーから、[ツール] - [インターネットオプション] を選択します。



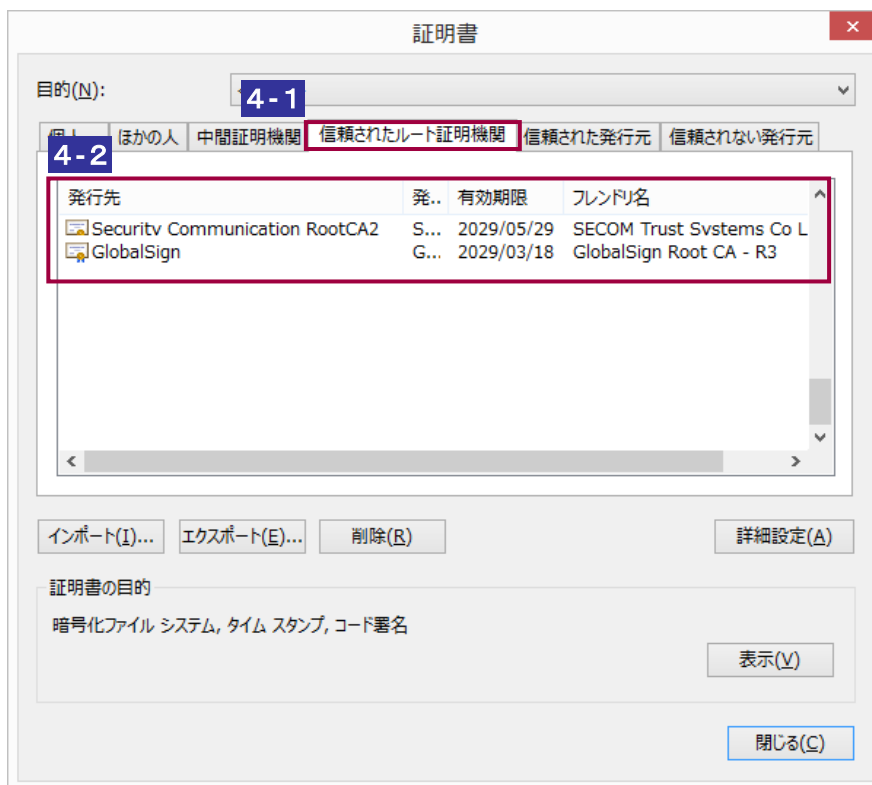
- 3 「コンテンツ」タブを選択し、証明書をクリックします。



- 4 「証明書」画面が表示されますので「信頼されたルート証明機関」タブを選択します。

「信頼されたルート証明機関」から、発行先が以下である証明書があることを確認します。

- Security Communication RootCA2 (セコムパスポート for WebSR3.0)
- GlobalSign Root CA - R3(グローバルサイン)



3. ルート証明書のインストール手順

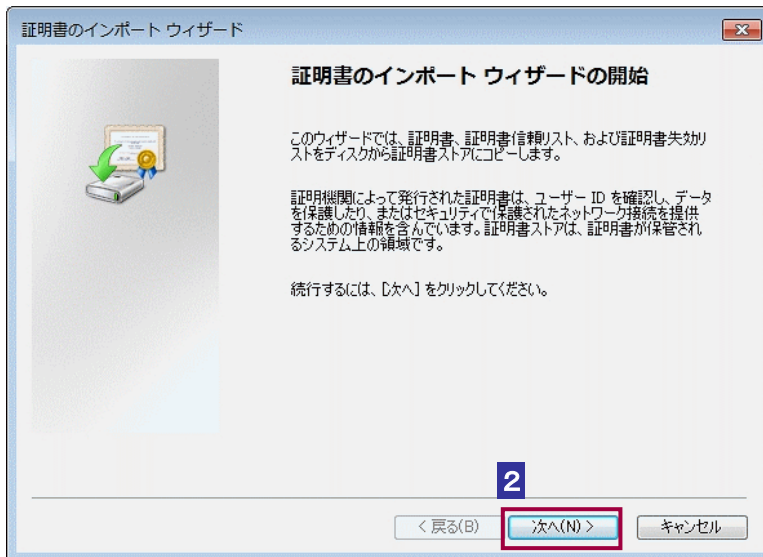
ルート証明書の事前確認手順に従い確認した結果、上述の証明書が組み込まれていなかった場合には、以下の手順に従い、証明書をパソコンへインストールしてください。

- 1 ダウンロードした証明書 (scrootca2.der) を起動し、**証明書のインストール** をクリックします。

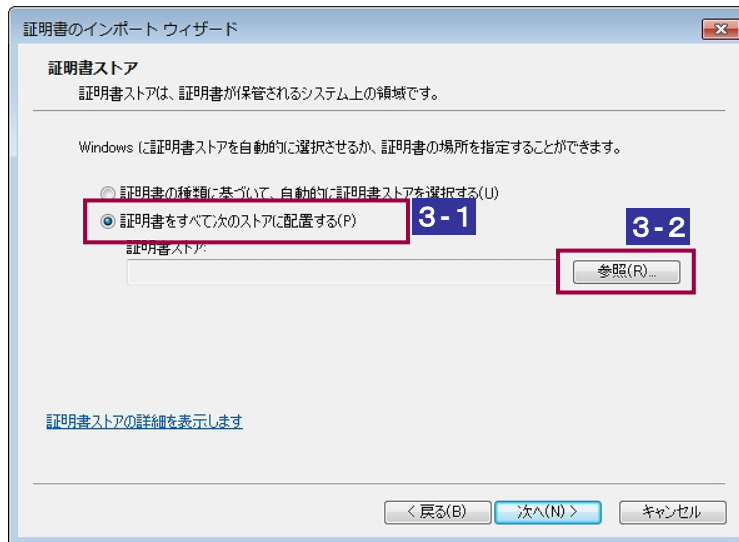


証明書のインポート ウィザードが開始されます。

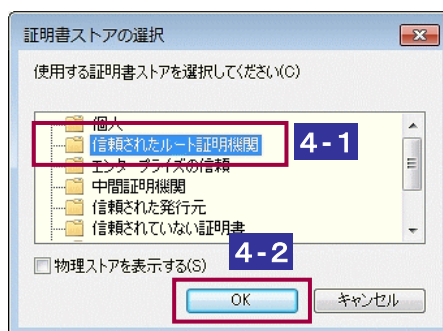
- 2 **次へ >** をクリックします。



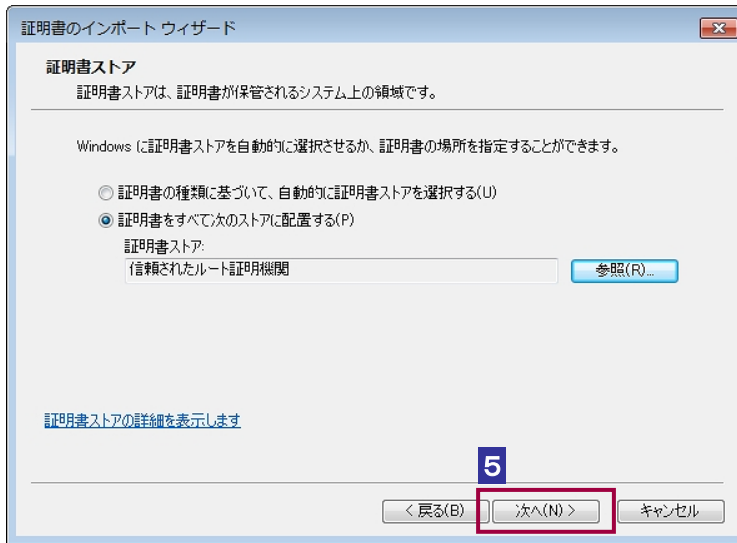
3 「証明書すべて次のストアに配置する」を選択後、「参照」をクリックします。



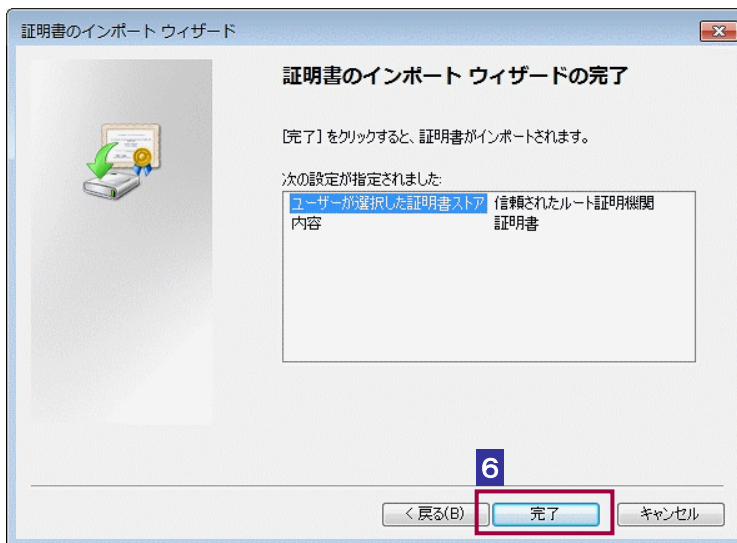
4 「信頼されたルート証明機関」を選択後、「OK」をクリックします。



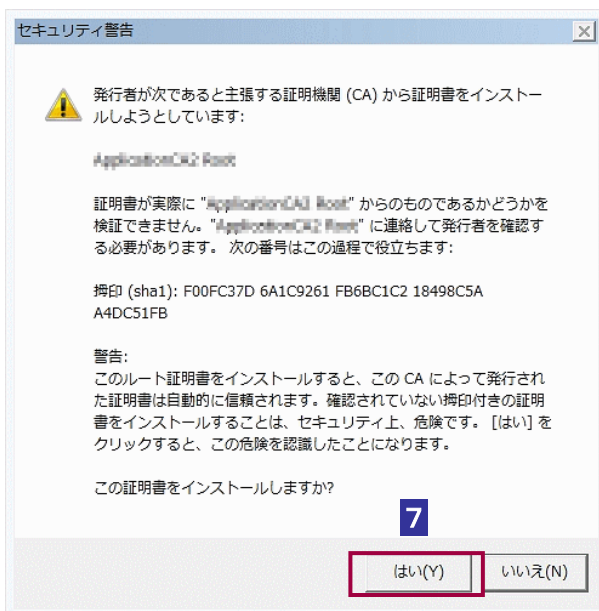
5 次へ > をクリックします。



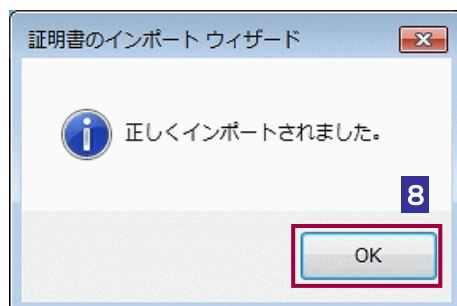
6 完了 をクリックします。



7 はい をクリックします。



8 OK をクリックします。



以上で、セコムパスポート for WebSR3.0 のルート証明書の登録は終了です。各種インストーラを使用するためには、以下の認証局の証明書も必要ですので、同じ手順で登録を行ってください。

- rootcacert_r3.cer : グローバルサイン